

事務事業	9016	げんきはうす(障害児支援施設)運営事業	担当課 課長	福祉課 藤野 和博	担当係 担当者	福祉係 宮田 美紀
計後 画期 体計 系画	施策	05 子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる	予 算 科 目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	160 子どもの発達に応じた支援を充実させる		款	3	民生費
法令根拠条例等			項	1	社会福祉費	
			目	3	障害者福祉費	
			基本事業			
実施期間			個別計画			
<input type="checkbox"/> 28年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返                 H17 年度より開始 <input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)                 年度～ 年度						

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 障がい児及び発達に遅れのみられる子どもと、その親の交流ができる場所あるいは同じ悩みや問題を抱える方達の情報交換や交流をする場として利用してもらうもの。 利用できる日:12月28日～翌年1月4日の期間を除く毎週火曜日から日曜日 利用時間:午前9時から午後9時まで 利用料(使用料)は無料。	<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) 施設利用申請の受付、連絡調整事務、施設の管理	電気・ガス料 164 千円 上下水道料 32 千円 千円 千円 千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 28年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) 利用申請の受付 水道光熱費の支払い	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	指標数値				
			名称	単位	27年度	28年度	29年度
		ア	利用申請回数	回	63	61	60 (見込)
		イ	延べ利用者数	人	500	394	380 (見込)
		ウ	利用団体数	団体	4	2	2 (見込)
	② 対象(誰、何を対象にしているのか) 障がい児等及びその保護者の団体	⇒	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	指標数値			
			名称	単位	27年度	28年度	29年度
ア			登録団体数	団体	5	5	5 (見込)
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか) 障がい児及び発達に遅れのみられる子どもと、その家族が利用することにより、同じ悩みを抱える方たちの情報交換や交流が活発になる。	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称	単位	27年度	28年度	29年度
			ア	一団体あたりの年間利用回数	回	目標 25 実績 16	16 30
		イ	施設稼働率	%	目標 30.0 実績 26.0	32.8 20.5	34.0
		ウ		目標			
		エ		実績			
		オ		目標			
			実績				

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		27年度 (決算値)	28年度 (当初予算)	28年度 (決算値)	29年度 (当初予算)	30年度 (計画)	31年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
		受益者負担等						
		一般財源	200	212	196	212		
		合計(A)	200	212	196	212	0	0
		(内臨時・嘱託職員人件費)						
	正職員人件費[按分](B)		259	215	266	302		
トータルコスト(A)+(B)		459	427	462	514	0	0	

## 事務事業評価表(事業実施年度:平成28年度)

### (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
旧児童デイサービスを行っていた本施設を、障がい児等を持つ親と子の団体から利用したい旨の相談があり、平成17年7月から利用を開始した。	利用できる場が確保され、劇の練習やお話会など、様々な活動ができるようになり、交流や情報交換が活発に行われている。	関係者からの要望で開始された事業であり、喜ばれている。

### (4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		28年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成28年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善  <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続		<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた (コメント必要ありません)  <input type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	

## 2 評価(SEE)及び全体総括の部\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

### (1) 評価

	評価の理由
<b>目的妥当性評価</b> ① 上位施策への貢献度は大きいですか?※総合計画を参照してください <input type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	施設での活動を通じて、障がい児及び発達に遅れの見られる子とその家族同士の交流や、情報交換ができ、不安が解消されることにより心身が健やかに保たれる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	空き施設の有効利用として提供しているため妥当である。
<b>有効性評価</b> ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	利用を希望する団体からの申請に対する事務対応等のみのため、向上余地はない。
④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	廃止にすると、団体が活動や交流をする場が減少し、影響がある。また、げんきはうすの内装はクッション性のある壁で仕上げてあり、活発な子どもたちの安全面を考慮しても必要な施設である。
<b>効率性評価</b> ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	空き施設の利用で、事業費は水道光熱費のみであり、削減の余地はない。受益者負担を徴収することは可能だが、福祉施設事業として受益者負担を求めないことで開始した。

### (2) 28年度を振り返って(全体総括・反省点)

前年度と比較して登録団体の利用申請が減少しているが、利用団体はげんきはうすでの活動を継続していきたい要望があるため、現状維持で来年度も事業を行う。

## 3 今後の方向性(29年度以降の計画と30年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	(2) 平成29年度以降に取り組む内容と期待される効果
<input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→  <input type="checkbox"/> 事業終了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	